



2023年度 SDGsセンター員が決定しました

2023年度の各研究科・データサイエンス学部のSDGsセンター員が決定しました。

【センター長】

林 秀敏（薬学研究科）

【副センター長】

高桑 修（医学研究科）

曾我 幸代（人間文化研究科）

金子 典代（看護学研究科）

熊澤 慶伯（理学研究科）

【センター員(各研究科・データサイエンス学部)】

奥田 勝裕（医学研究科）

富田 淳（薬学研究科）

山本 奈央（経済学研究科）

馬渡 玲欧（人間文化研究科）

栗原 康行（芸術工学研究科）

尾崎 伊都子（看護学研究科）

鈴木 善幸（理学研究科）

小山 聡（データサイエンス学部）

本学の取り組みがスターキャットの番組で紹介されました

名古屋市を中心としたケーブルテレビ「スターキャット」の「SDGsミライProgram」という番組で、本学のSDGs活動が紹介されました。

5月16日(火)19:55~20:00に放送されたこの番組では、林秀敏SDGsセンター長へのインタビューの他、SDG3（すべての人に健康と福祉を）達成に貢献する学生の活動として、medical HUBの活動の様子が紹介されました。

この番組の内容は、スターキャット公式YouTubeでも公開されています。ぜひご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=IJBTSm3Q7z0&list=PL1t58gcnW-5rC1Qi2ZK0P-JHC3Bs5HJK4&index=1>



本学の温室効果ガス排出量削減の状況を公開しています

名古屋市の「市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例」（環境保全条例）では、エネルギー使用量が800kL以上の事業者に対し、地球温暖化対策計画書及び地球温暖化対策実施状況書を提出することを求めています。

本学では現在、令和2年度を基準年度とし、令和3年度～令和5年度を新たな期間とする計画に取り組んでいます。桜山（川澄）キャンパスと田辺通キャンパスにおいて基準年度（令和2年度）の温室効果ガス排出量より0.9%を削減することを、令和5年度の目標削減率として掲げています。

本学の毎年の進捗状況は「環境報告書」で公開しています。

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/about/environment/report/>



SDGs 17ゴールの紹介

ここでは、SDGs 17ゴールについて、ゴールごとに紹介します。今回は、SDG10（人や国の不平等をなくそう）について紹介します。

10 人や国の不平等をなくそう



Goal10. 各国内及び各国間の不平等を是正する

SDG10に関連する本学の取り組み例（SDGs活動レポートより）

USM（マレーシア科学大学）研修報告



活動の概要	USM短期研修は「グローバル未来都市共創に資する次世代研究者エンバウメントプログラム」の一貫です。同プログラムは、すべての研究科のあらゆる研究分野の博士後期課程・博士課程学生を対象に選抜を行い、経済的な支援を行うとともに、学生個々の蓄養・豊かな研究力に向上させる形で「プレゼン力」「交渉力」「合意形成力」「行動力」というスキルセットを獲得させること（エンバウメント）を目的としています。今年度より始まった本研修では、現在まだ顕在化していない問題も含めた、都市が抱えるさまざまな社会課題を通じてそれぞれの研究課題を俯瞰的にとらえる能力を鍛え、幅広い視野と情報発信力・交渉力を涵養することで、個々人のキャリア開発につなげるとともに、未来都市共創に資する新たな博士人材を創造することを目的としています。
活動の時期	2022年9月
関連URL	名古屋市立大学マレーシア科学大学（マレーシア）短期研修2022 募集要項

USM研修レポート（PDFファイル 0.52MB）

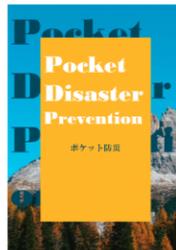


難民学校の子どもたち Centre for Drug Researchのラボ見学 センター長、事務長、パティとのお別れ会

本学人文社会学部の学生が「スマホでオフラインでも見ることができるポケット防災」を作成



活動の概要	本学の人文社会学部の防災ゼミの学生たちが、滝子キャンパスで学ぶ学生を対象に防災の情報を提供する「スマホでオフラインでも見ることができる新・ポケット防災」を作成しました。本学では、滝子キャンパスで学ぶ学生全員に防災情報が載っている持ち運び可能な「ポケット防災」を紙媒体にて配布していますが、防災ゼミの学生たちはより携帯しやすいようにスマホに着目し、オフラインで閲覧可能な「新・ポケット防災」を作成しました。こちらは「防災用品リスト」「大学マップ」「ハザードマップ」などの情報が新たに追加された他、「誰一人取り残さない」を目標に様々なニーズを反映した内容にすることを心がけたり、やさしい日本語表記の冊子を別に作成したりするなどの工夫がされています。今後は従来のポケット防災の補完資料として、滝子キャンパスで学ぶ学生に配布する予定です。
活動の時期	2021年度



その他のSDG10に関する取り組みについては、以下のサイトをご確認ください。

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/10/>

お問い合わせ

名古屋市立大学SDGsセンター事務局 （企画推進課内）

〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1

Tel : 052-853-8806

Mail : ncu-sdgscenter@sec.nagoya-cu.ac.jp

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/sdgscenter/>

